

1998年8月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度場では、カラ海から西・中部シベリア、太平洋北部、カナダ、大西洋東部に顕著な正偏差が見られる。北ヨーロッパ、東シベリアからアラスカ、中国北部から北・東日本では負偏差となった。偏西風は日本付近では月を通して平年より5度程度南に位置し、太平洋中部では平年より北に偏っていた。850 hPa の流れでは、インドから日付変更線付近にかけての亜熱帯域に南北両半球で高気圧性偏差が見られ、10°N 付近では顕著な東風偏差が見られた。200 hPa 速度ポテンシャルでは、大規模な発散域の中心はインドシナ半島付近に見られ、平年よりも30度程西に偏っていた。対流活動はフィリピン沖で平年より不活発、カリマタ海峡からジャワ島の西方沖で平年より活発だった。南方振動指数 (SOI) は+1.0となった。

世界の天候

① 東シベリアの低温

② 中央アジアから中央シベリアにかけての高温

カザフスタン・カラガンダで22.3°C (+4.6°C)。カザフスタンで干ばつの被害が伝えられた。

③ 中国北東部から北日本にかけての多雨

長江流域で6月からの大規模な洪水が継続したほ

か、中国北東部やチベット域でも洪水が発生し、合わせて死者3000人以上など大きな被害が報じられた。

④ インドシナ半島から西日本にかけての高温

広東省スワトウで29.6°C (+1.5°C)。ベトナム中部では熱波と干ばつにより、米の不作、水不足などの被害が伝えられた。

⑤ インド、マレーシア、インドネシアの高温

⑥ ヨーロッパからアフリカ北部にかけての高温・少雨

キプロスでは40°Cを超える熱波で死者が50人を超えたほか、ギリシャで森林火災の被害が、ヨーロッパ東部やロシアで熱波や干ばつの被害が伝えられた。

⑦ カナダ北部の高温

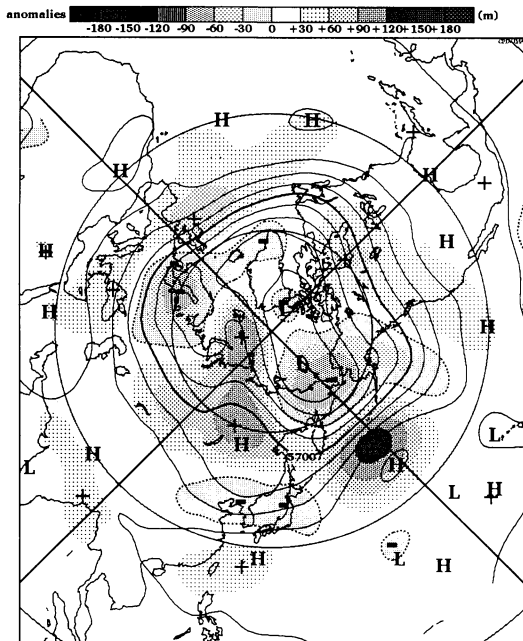
⑧ カリブ海諸国からベネズエラにかけての高温

⑨ アルゼンチン南部の高温

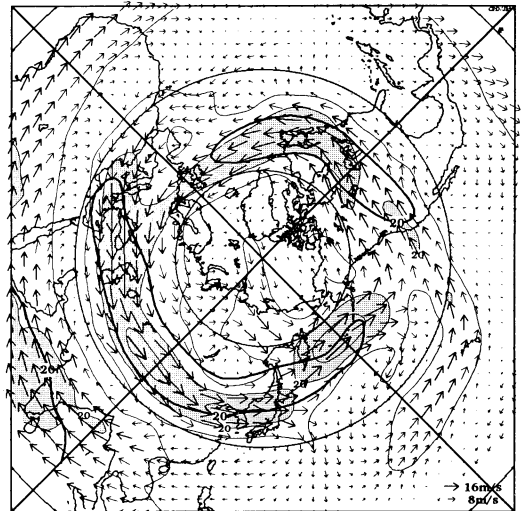
⑩ オーストラリア東部からメラネシア南部にかけての高温・多雨

シドニーで411 mm (457%)、オーストラリア北東部タウンズビルで250 mm (1761%)となった。中旬にシドニー付近で集中豪雨の被害が報じられた。

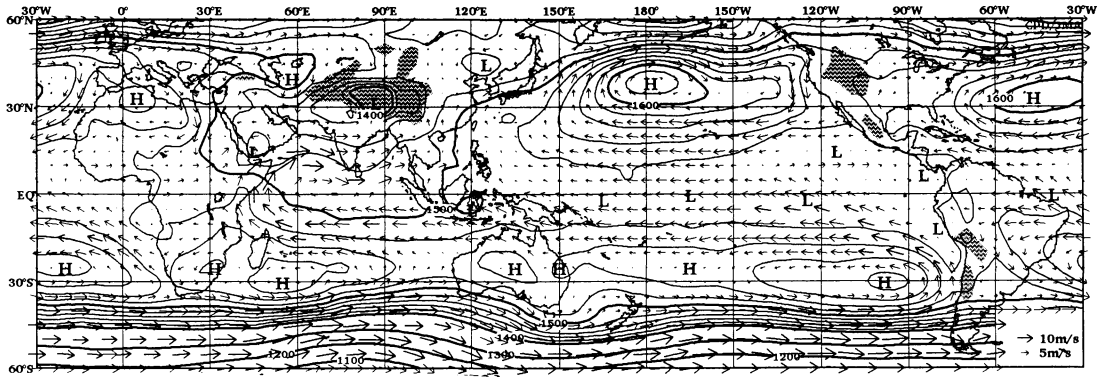
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 古林慎哉)



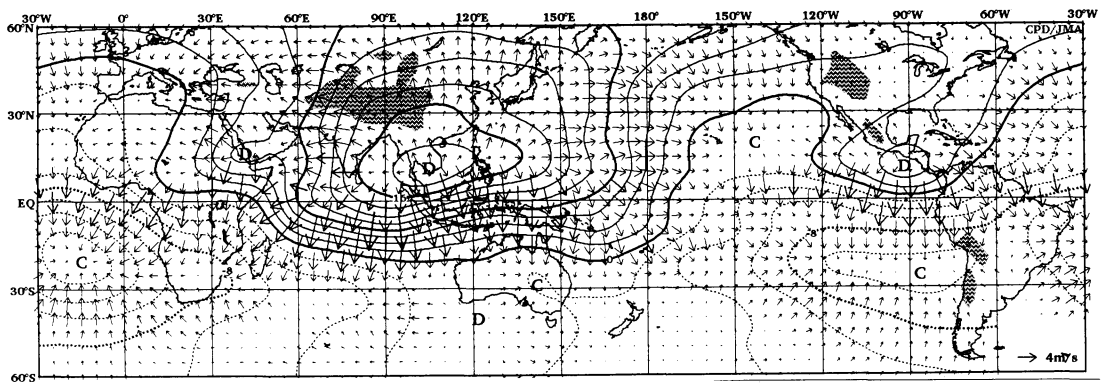
1998年8月の北半球月平均500 hPa高度および平年偏差
等値線間隔は60 m、偏差パターン間隔は30 m、平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。



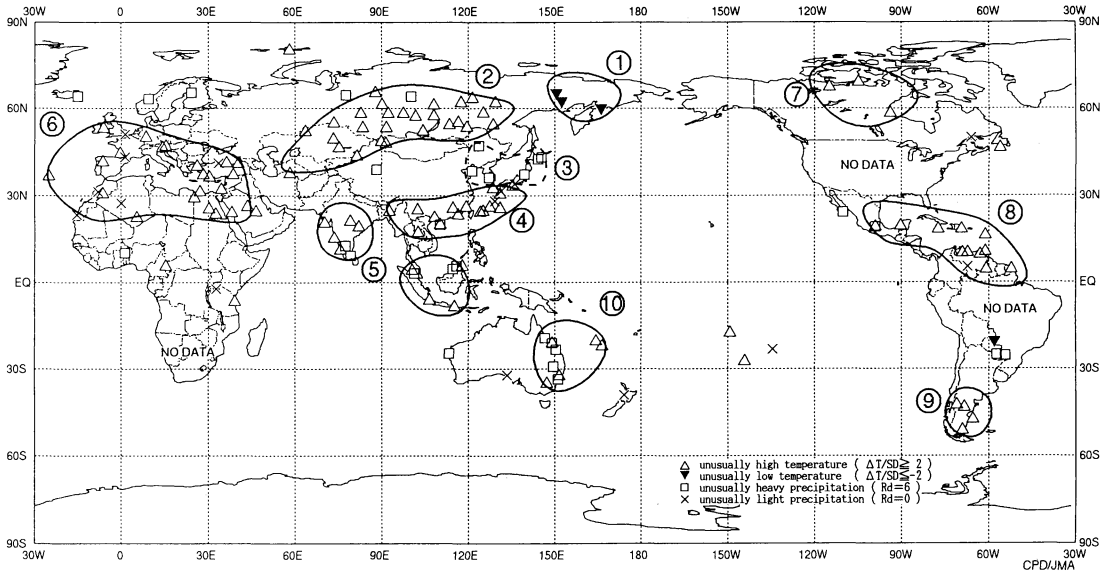
1998年8月の北半球月平均200 hPa風速および風ベクトル
等値線間隔は10 m/s、陰影部は平年で20 m/s以上、平年値は1979~1996年のデータに基づくもの。



1998年8月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



1998年8月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は 2×10^6 m²/s



1998年8月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.